

第2 各総室の事業概要

保 健 総 室
＜上十三保健所＞

I 指導予防課関係業務

1 医務関係

通常、管内の全病院をはじめ診療所、施術所等に対し、「医療従事者の勤務実態の状況」、「医療に係る安全管理のための体制整備状況」などについて重点的に監視・指導を実施している。

(1) 医務関係施設数

(令和6年3月31日現在)

市町村名		総	十	三	野	七	六	横	東	六
区分		数	和	沢	辺	戸	戸	浜	北	ヶ
			田	市	地	町	町	町	町	所
			市	市	町	町	町	町	町	村
病院		11	5	3	1	1	0	0	1	0
病床数		1,793	978	444	151	110			110	
一般		938	435	220	120	110			53	
精神		679	539	140						
結核		0								
感染症		4	4							
療養		172		84	31				57	
診療所		92	38	20	4	6	5	2	9	8
無床		79	33	19	2	5	3	2	8	7
有床		13	5	1	2	1	2		1	1
病床数 一般		147	48	3	21	16	27		13	19
療養		3				3				
歯科診療所		56	20	14	8	4	3	1	5	1
助産所		3	2	1						
施術所		144	72	23	14	10	5	3	15	3
歯科技工所		23	10	6	2	1	2	1	1	
衛生検査所		0								
介護老人保健施設		9	4	1	2	1				1
介護医療院		0								

※介護老人保健施設数及び介護医療院数は令和5年度青森県健康福祉関係施設名簿から計上。

(2) 医師・歯科医師・薬剤師数

(人)

区分	青森県	上十三地域	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
医師	2,773	230	121	60	18	15	4	1	7	4
歯科医師	735	86	28	25	9	6	5	2	8	3
薬剤師	2,345	223	117	53	11	21	6	2	9	4

※令和4年青森県保健統計年報より

(3) 医療監視の状況

年度	5		4		3		2	
	対象 施設数	実施数 実施率%	対象 施設数	実施数 実施率%	対象 施設数	実施数 実施率%	対象 施設数	実施数 実施率%
病院	11	11	11	0※	11	0※	12	0※
		100.0		0.0		0.0		
一般診療所	92	39	99	2	102	7	96	12
		42.4		2.0		6.7		12.5
歯科診療所	57	22	57	0	57	2	59	9
		38.6		0.0		3.5		15.3
助産所	3	0	3	0	3	0	3	0
		0.0		0.0		0.0		
施術所	145	15	145	5	148	9	150	11
		10.3		3.4		6.1		7.3

※令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、全施設に対し書面検査を実施。

(4) 救急医療機関の状況

「救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令）」に基づいて、医療機関の申し出を受けて知事が救急病院、救急診療所として認定している。現在、次の5施設が認定を受けている。

(令和6年3月31日現在)

番号	施設名	所在地	電話番号
1	十和田市立中央病院	十和田市西十二番町14-8	0176-23-5121
2	十和田第一病院	十和田市東三番町10-70	0176-22-5511
3	三沢市立三沢病院	三沢市大字三沢字堀口164-65	0176-53-2161
4	公立野辺地病院	上北郡野辺地町字鳴沢9-12	0175-64-3211
5	公立七戸病院	上北郡七戸町字影津内98-1	0176-62-2105

(5) 医療安全対策・院内感染対策研修会

令和5年12月4日 出席者：医療機関等職員 88名

内 容 医療安全等について

主催者 青森県保険医協会

場 所 サンロイヤルとわだ（十和田市東三番町37-7）

時 間 19:00～20:00

2 薬事関係

薬局・医薬品販売業、毒物劇物販売業について、「有資格者による実務管理」、「薬局における医薬品の業務に係る医療の安全を確保するための措置」、「販売方法」などについて重点的に監視・指導を実施している。

(1) 薬事関係施設数

(令和6年3月31日現在)

区分	市町村名	総数	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
製造業		8	4	2						2
	医薬品	1		1						
	医薬部外品	1		1						
	化粧品	1	1							
	薬局製剤	3	2							1
	医療機器	2	1							1
薬局		64	30	14	5	6	2	1	5	1
卸売販売業		11	7	2	1					1
	一般	2	2							
	小規模	1		1						
	特定品目	8	5	1	1					1
	サンプル									
店舗販売業		56	23	14	4	4	3		5	3
配置販売業		6	1	1	1				3	
配置従事者		12	2	3	1	1			5	
高度管理医療機器等		74	40	15	6	4	1		3	5
	販売業	48	26	11	3	4	1		1	2
	貸与業									
	販売貸与業	26	14	4	3				2	3
管理医療機器等 (みなし販売業等を除く)		407	164	77	36	39	26	8	39	18
	販売業	379	156	71	33	37	23	8	34	17
	貸与業	2	1	1						
	販売貸与業	26	7	5	3	2	3		5	1
医療機器修理業		4	4							
毒物劇物		137	63	20	6	11	11	2	11	13
	製造業	2		1						1
	輸入業	1								1
	販売業	134	63	19	6	11	11	2	11	11
	一般	55	27	12	2	1	3		1	9
	農業用品目	75	32	7	4	10	8	2	10	2
	特定品目	4	4							
麻薬取扱施設		121	58	28	9	8	4	3	7	4

(2) 薬事監視の状況

(令和6年3月31日時点)

年 度		5		4		3		2	
区 分		対 象 施設数	実施数 実施率(%)	対 象 施設数	実施数 実施率(%)	対 象 施設数	実施数 実施率(%)	対 象 施設数	実施数 実施率(%)
製造業	医薬品	1	0	1	0	0	0	1	0
			0				0		
	薬局製剤	5	0	6	0	5	0	5	7
			0				0		
輸入 販売業	医薬品	0	0	0	0	0	0	0	0
					0				0
薬局		64	43	63	34	63	21	64	42
					67.2				54.0
医薬品 販売業	卸売	11	11	11	8	11	3	11	5
					100				72.7
	旧薬種商	0	0	0	0	0	0	0	0
					0				0
店舗	56	17	58	8	56	27	51	7	
				30.4				13.8	
配置	6	0	6	0	6	0	7	0	
				0				0	
高度管理医療機器 ・管理医療機器販売業等		481	35	486	34	485	48	466	31
					7.2				7.0
毒物劇 物	製造業	2	0	2	0	0	0	2	0
			0				0		
販売業	134	37	132	38	136	16	136	21	
				27.6				28.8	
麻薬取扱施設		121	80	120	62	118	36	121	56
					66.1				51.2

(3) 薬物乱用防止活動

関係機関及び青森県薬物乱用防止指導員等の協力を得ながら、不正大麻・けしの除去に努めた。

また、各種会合等を利用した薬物乱用防止啓発活動や学校での薬物乱用防止教室への協力を行った。

ア 不正大麻・けしの除去本数

(ア) 大麻除去本数

年度	5	4	3	2
管内 (本数/箇所数)	8462/12	7,670/6	572/11	1,150/7
県 (本数/箇所数)	947,518/96	47,417/70	48,239/85	50,173/94

(イ) けし除去本数

年度	5	4	3	2
管内 (本数/箇所数)	1,164/14	928/18	1,364/25	3,761/41
県 (本数/箇所数)	3,095/42	2,895/48	10,442/114	9,401/101

イ 講習会等の啓発活動

事業名	開催年月日	開催場所	対象者	参加人員	備考 (講師等)
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び国連支援募金	令和5年6月20日～7月19日	管内の薬局・薬店等の協力店舗	住民等		ポスター掲示募金箱設置
青森県薬物乱用防止指導員上十三地区協議会	令和5年6月20日書類送付	書面開催	上十三地区薬物乱用防止指導員	43名	
薬物乱用防止指導員による各種会合を利用した啓発及び産業祭りなどのイベントを利用した啓発	随時	各地	住民等	多数	町内会等

(4) 献血状況

献血の推進のため、管内市町村関係機関等の協力を得て、地域住民に献血思想の普及啓発を図り、献血者の確保に努めた。

	令和4年度献血実績			令和4年度 目標量 (全血献血) (L)	令和4年度 目標達成率 (全血献血) (%)
	全血献血		確保量 (全血献血) (L)		
	200ml(人)	400ml(人)			
十和田市	40	1961	792.4	609.0	130.1
三沢市	8	1206	484.0	452.4	107.0
野辺地町	2	188	75.6	104.4	72.4
七戸町	0	340	136.0	139.2	97.7
六戸町	5	128	52.2	69.6	75.0
横浜町	0	70	28.0	34.8	80.5
東北町	4	407	163.6	139.2	117.5
六ヶ所村	3	341	137.0	417.6	32.8
管内計	62	4641	1868.8	1966.2	95.0
青森県	833	24238	9861.8	9918.0	99.4

※当所管内には献血ルームがないため、献血バスの実績を報告しています。

3 感染症関係

(1) エイズ予防関係

保健所に相談窓口を開設し、エイズ及び性感染症のまん延防止を図るため、無料・匿名での血液検査を月2回実施している。なお、平成28年6月から即日検査を導入している。

相談・検査状況

※結果告知のみは相談件数に計上しない

年次	採血件数		相談件数		相談方法			
	男	女	男	女	電話		来所	
					男	女	男	女
2	20	12	1	0	1	0	0	0
3	17	15	4	1	4	1	0	0
4	18	10	0	0	0	0	0	0
5	28	8	0	0	0	0	0	0

(2) ウイルス性肝炎

ア 相談

保健所に相談窓口を開設し、B型肝炎ウイルス及びC型肝炎ウイルス感染者の早期発見、早期治療を図り肝硬変や肝がん等への進行を予防することを目的として実施している。

年次	採血件数				相談件数		相談方法			
	HBs		HCV		男	女	電話		来所	
	男	女	男	女			男	女	男	女
2	5	6	5	6	1	3	1	2	0	1
3	6	5	6	4	0	1	0	1	0	0
4	1	5	1	5	2	0	2	0	0	0
5	7	5	7	5	1	1	1	1	0	0

イ 肝炎治療医療費助成申請受理件数

申請内容	インターフェロンフリー治療				核酸アナログ製剤治療								インターフェロン治療 (うち延長)			
					新規				更新							
年度	5	4	3	2	5	4	3	2	5	4	3	2	5	4	3	2
十和田市		5	4	6	3	4	3	3	32	29	30					
三沢市	3	4	5	8		3	3		14	15	12					
野辺地町	2		2	2		1		1	6	4	6					
七戸町	3		2	3	3		2	1	7	7	7					
六戸町			2	1				1	4	2	4					
横浜町	1						1		1	2						
東北町			1	2		2	3	3	12	14	14					
六ヶ所村		1	1	2		1	1	1	7	5	6					
管外					1				2	4	4					
	9	10	17	24	7	11	13	10	85	82	83	0	0	0	0	0

(3) 感染症発生状況

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、義務付けられている医師からの届出は以下のとおりであった。届出があった場合には、感染源や感染経路の調査、感染予防のための指導を実施した。

(全数把握感染症年次別状況)

区分		年次				
		5	4	3	2	元
二類	結核（潜在性結核感染症含む）	1 2	1 4	2 7	2 2	2 3
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1 0	4	5	9	9
四類	つつが虫病	0	1	2	2	2
	レジオネラ症	2	2		3	2
五類	アメーバ赤痢	1	1			2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6		3	6	2
	クリプトスポリジウム症	1				1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0				
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0				1
	後天性免疫不全症候群	1	1			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1			1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	1	1	3
	水痘（入院例）	0	1	1		
	梅毒	4	5	3		1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				1
	百日咳（※2）	0			1	1 0
	急性弛緩性麻痺（※1）	0				
播種性クリプトコックス症	0		1			

※1 平成30年5月より全数把握対象疾患

※2 平成30年1月より全数把握対象疾患

(4) 感染症予防普及啓発活動

感染症の発生情報や標準予防策、発生時の対応についての知識を普及することにより、感染症の発生を予防し、まん延を防ぐことを目的として実施した。

実施日時 会場	対象者・参加人数	方法	内 容
令和5年8月24日 十和田市南コミュニティセンター	十和田市、七戸町、六戸町の保育施設の職員 計29名	講義 実技	1 講義「感染症対策の基礎知識」 2 情報提供 (1) 消毒の種類と方法 (2) 感染症発生時の連絡 3 実習 (1) 吐物の処理 (2) 正しい手洗い
令和5年8月29日 三沢市国際交流教育センター	三沢市、野辺地町、東北町、横浜町、六ヶ所村の保育施設の職員 計25名	講義 実技	1 講義「感染症対策の基礎知識」 2 情報提供 (1) 消毒の種類と方法 (2) 感染症発生時の連絡 3 演習 (1) 吐物の処理 (2) 正しい手洗い

(5) 感染症発生動向調査

県では、感染症の発生動向を調査するために指定届出機関として患者定点を選定し、定期的に報告を受けている。

ア 週報 管内の定点医療機関（内科3、小児科6、眼科2、基幹1）からの報告

疾患名	報告件数			
	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
インフルエンザ	5478	30	4	1,226
RSウイルス感染症	80	46	176	4
咽頭結膜熱	202	6	6	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	6	33	238
感染性胃腸炎	706	556	693	729
水痘	25	21	16	40
手足口病	153	384	178	33
伝染性紅斑	1	21	1	18
突発性発しん	57	84	115	96
ヘルパンギーナ	774	25	8	4
流行性耳下腺炎	8	12	16	9
急性出血性結膜炎	0	0	1	0
流行性角結膜炎	14	10	2	3
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	1
クラミジア肺炎	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0

(各年1月～12月)

イ 月報 管内の定点医療機関（性感染症2、基幹1）からの報告

・性感染症発生状況

疾患名	報告件数			
	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
性器クラミジア感染症	76	93	82	69
性器ヘルペスウイルス感染症	31	29	21	27
尖圭コンジローマ	4	4	5	16
淋菌感染症	10	13	11	7

(各年1月～12月)

・薬剤耐性菌発生状況

疾患名	報告件数			
	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	1	4	4
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	13	24	20	23
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0

(各年1月～12月)

4 結核予防関係

(1) 結核患者登録状況

ア 新登録患者数、年齢階級・市町村別

(令和5年)

年齢階級 市町村	0~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	計
	十和田市									1	1
三沢市										1 (1)	1 (1)
野辺地町					1						1
七戸町										2 (1)	2 (1)
六戸町						(1)					(1)
横浜町											
東北町										2	2
六ヶ所村										1	1
計					1				1	7 (2)	9 (3)

(潜在性結核感染症は () 内に別掲)

イ 新登録患者数、活動性分類別、市町村別

(令和5年)

活動性分類 市町村	活動性結核								潜在性結核感染症 (別掲)
	総数	性別		肺結核活動性				肺外結核活動性	
		男	女	喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
				初回治療	再治療				
十和田市	2	2	0	1	0	1	0	0	0
三沢市	1	1	0	0	0	1	0	0	1
野辺地町	1	0	1	0	0	0	0	1	0
七戸町	2	1	1	0	0	2	0	0	1
六戸町	0	0	0	0	0	0	0	0	1
横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北町	2	1	1	2	0	0	0	0	0
六ヶ所村	1	0	1	1	0	0	0	0	0
計	9	5	4	4	0	4	0	1	3

ウ 年末現在登録者数、年齢階級・市町村別

(令和5年末現在)

年齢階級 市町村	0~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	計
	十和田市									1	4
三沢市							1		1	1 (1)	3 (1)
野辺地町					2					1	3
七戸町						1				2 (1)	3 (1)
六戸町						(1)				1	1 (1)
横浜町											
東北町										1	1
六ヶ所村										1	1
計					2	1 (1)	1		2	1 1 (2)	1 7 (3)

(潜在性結核感染症は () 内に別掲)

エ 年末現在登録者数、活動性分類別、市町村別

(令和5年末現在)

	総数	性別		活動性結核					不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症 (別掲)	
		男	女	肺結核活動性			肺外結核活動性	治療中			観察中	
				登録時 喀痰塗抹陽性		登録時 その他の結核 菌陽性						
				初回 治療	再治療							
十和田市	5	5	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0
三沢市	3	2	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0
野辺地町	3	1	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0
七戸町	3	2	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0
六戸町	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北町	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
六ヶ所村	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
計	17	10	7	4	0	6	2	5	0	0	3	0

(2) 結核健康診断及び精密検診実施状況

(令和5年度)

	結核健康診断 接触者健診		精密検診
	同居家族	その他	
	ツベルクリン反応検査	0	
I G R A 検査	19	86 (25)	0
胸部X線検査	3	14 (9)	4 (3)
潜在性結核感染症	1	0	-
結核	0	0	-

注 () 内は、医療機関等に委託して実施した件数の再掲

(3) 結核診査協議会の診査状況

年	区分	感染症法 第37条関係	感染症法 第37条の2関係	計
	令和5年		10件	13件
令和4年		21件	20件	41件
令和3年		21件	32件	53件
令和2年		23件	26件	49件

(4) 訪問指導状況等

ア 訪問指導は新規届出患者を優先（訪問DOTS含む）し、訪問件数は実数で16件、延べ53件

イ 連絡確認DOTSの件数は実数1件、延べ2件

ウ 外来DOTS（来所・薬局）の件数は実数4件、延べ16件

※DOTS:直接監視下短期化学療法 (Directly Observed Treatment Short course)

(5) 結核対策事業実施状況

結核の正しい知識の普及啓発を行った。

事業名	回数	開催年月日	開催場所	対象者・ 参加人数	内容
結核予防週間 での普及啓発	1回	令和5年9月24日～ 9月30日	上十三保健所 十和田合同庁舎	地域住民等	結核に関するパンフ レットの配布・ポスタ ー掲示

5 会議関係

(1) 上十三地域保健医療推進協議会

地域保健医療推進協議会は、青森県保健医療計画に基づき、地域における保健医療活動を効果的に推進するために、二次保健医療圏ごとに設置されている。

ア 開催実績

令和5年度は、資料送付による書面開催で行った。

(議題) ・健康上十三21(第2次)最終評価について

・青森県保健医療計画(地域編:上十三地域保健医療圏)について

イ 委員名簿(任期:令和4年4月1日~令和6年3月31日)

(ア) 上十三地域保健医療推進協議会

所属団体名	役職名	氏名
一般社団法人上十三医師会	会長	小嶋 泰彦
上十三歯科医師会	会長	木村 英敏
高松病院	院長	高松 幸生
十和田市立中央病院	院長	高橋 道長
三沢市立三沢病院	院長	斎藤 聡
公立野辺地病院	院長	中島 道子
公立七戸病院	院長	小野 正人
一般社団法人青森県薬剤師会上十三支部	支部長	河原木 智
十和田市	健康増進課長	工藤 博明
六戸町	福祉課長	吉田 英輔
北部上北広域事務組合消防本部	警防課長	井上 輝昭
公益社団法人青森県看護協会上十三支部	第一副支部長	中村 登代子
公益社団法人青森県栄養士会上十三地区会	運営委員長	白山 八千代
社会福祉法人十和田市社会福祉協議会	事務局長	平舘 雅子

(イ) 保健対策部会

所属団体名	役職名	氏名
上十三歯科医師会	会長	木村 英敏
十和田市	健康増進課長	工藤 博明
六戸町	福祉課長	吉田 英輔
公益社団法人青森県栄養士会上十三地区会	運営委員長	白山 八千代
上十三保健所管内保健協力員連絡会	会長	千葉 和子
十和田・三沢地域産業保健センター	保健師	山田 眞智子
上十三保健所管内食生活改善推進員連絡協議会	会長	逄 和子
上北地方養護教員会	会長	田中 直美
一般社団法人上北労働基準協会	業務課長	沢目 貴臣
十和田食品衛生協会	会長	福田 賢司

(2) 上十三保健所感染症診査協議会

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第24条の規定に基づき、第18条（就業制限）、第19条（入院の勧告・措置時の報告）、第20条（入院期間の延長）に関する事項を審議するために設置している

氏名	所属団体名	役職名	任期
杉田 純一	十和田市立中央病院	小児科診療科長	令和4年7月1日～ 令和6年6月30日
泉山 伸	泉山内科	院長	令和4年7月1日～ 令和6年6月30日
鈴木 陽大	いずみ法律事務所	弁護士	令和4年7月1日～ 令和6年6月30日

(3) 上十三保健所結核診査協議会

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第24条の規定に基づき、第18条（就業制限）、第19条（入院の勧告・措置時の報告）、第20条（入院期間の延長）及び第37条の2（結核医療費適正公費負担の申請）に関する事項を審議するために設置している。

氏名	所属団体名	役職名	任期
川村 邦明	かわむらクリニック	院長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日
伊藤 貴司	十和田市立中央病院	呼吸器科長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日
保土澤 史教	法律事務所 奥入瀬	弁護士	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日

(4) 上十三地域新型インフルエンザ対策協議会

地域における新型インフルエンザにかかる医療提供体制の構築、及び新型インフルエンザ対策の充実を図るために設置している。

令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大により開催実績なし

ア 委員名簿（任期：令和4年12月1日～令和6年11月30日）

所属団体名		役職名	氏名
一般社団法人上十三医師会		会長	小嶋 泰彦
十和田市立中央病院		副院長	杉田 純一
三沢市立三沢病院		院長	斎藤 聡
公立野辺地病院		院長	小堀 宏康
公立七戸病院		院長	小野 正人
六ヶ所村地域家庭医療センター		副センター長	船越 樹
青森県薬剤師会上十三支部		支部長	河原木 智
青森県看護協会上十三支部		第一副支部長	中村 登代子
十和田地域広域事務組合消防本部		消防長	寺地 充宏
三沢市消防本部		消防長	浅野 一雄
北部上北広域事務組合消防本部		消防長	鷹架 幸美
中部上北広域事業組合消防本部		消防長	蛭名 博之
十和田警察署		署長	中村 隆
三沢警察署		警備課長	三上 聡
野辺地警察署		警備課長	岩谷 泰幸
七戸警察署		署長	佐藤 文徳
十和田市	健康増進課	課長	工藤 博明
三沢市	市民生活部	保健師	坂本 美帆
野辺地町	健康づくり課	課長	木明 修
七戸町	健康福祉課	課長	井上 健
六戸町	福祉課	課長	吉田 英輔
横浜町	健康みらい課	課長	畑中 晴美
東北町	保健衛生課	課長	瀬川 司
六ヶ所村	健康課	課長	小川 良子

(5) 上十三地域災害医療対策協議会

地域災害医療対策協議会は、災害時において関係機関が連携して地域医療を確保するために、二次保健医療圏ごとに設置されている。

ア 開催実績

令和5年度開催実績なし。

イ 委員名簿（任期：令和6年3月1日～令和8年2月28日）

(ア) 上十三地域災害医療対策協議会委員

(令和6年3月31日現在)

所 属	役 職	氏 名
上十三医師会	会長	小嶋 泰彦
上十三歯科医師会	会長	黒田 雅仁
青森県薬剤師会上十三支部	支部長	河原木 智
青森県看護協会上十三支部	第二副支部長	市川 亜希子
十和田市立中央病院	病院長	杉田 純一
三沢市立三沢病院	病院長	斎藤 聡
公立野辺地病院	病院長	中島 道子
公立七戸病院	病院長	小野 正人
十和田第一病院	理事長	佐々木 一葉
十和田地域広域事務組合消防本部	警防課長	滝澤 文隆
三沢市消防本部	警防課長	馬場 吉運
北部上北広域事務組合消防本部	警防課長	井上 輝明
中部上北広域事業組合消防本部	警防課長	高田 秋悦
十和田警察署	警備課長	柳谷 宏治
三沢警察署	警備課長	小山内 慎
野辺地警察署	警備課長	木村 嘉顕
七戸警察署	警備課長	石塚 将之
十和田市	健康増進課長	工藤 博明
三沢市	健康推進課長	根岸 貴之
野辺地町	健康づくり課長	木明 修
七戸町	保健福祉課長	井上 健
六戸町	福祉課長	吉田 英輔
横浜町	健康みらい課長	畑中 晴美
東北町	保健衛生課長	萌出 大樹
六ヶ所村	健康課長	小川 良子
上十三医師会	副会長	鈴木 吾朗
上十三医師会	副会長	戸舘 雅大
十和田市立中央病院	外科診療部長	藪内 伸一

(イ) 上十三地域災害医療コーディネーター

所 属	役 職	氏 名
上十三医師会	会長	小嶋 泰彦
上十三医師会	副会長	鈴木 吾朗
上十三医師会	副会長	戸館 雅大
十和田市立中央病院	外科診療部長	藪内 伸一
三沢市立病院	外科科長兼救急室長	池永 照史郎一期

6 実習・関係者研修

(1) 医師臨床研修

医師臨床研修が制度化されたことにより、当部保健総室において平成17年度から地域保健研修を実施している。地域における保健・医療・福祉の包括的提供体制を理解し、公衆衛生活動における役割、連携等について理解を深めることを目的としている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、受入れは中止となった。

<実施状況>

年度	区分	十和田市立中央病院		防衛医科大学校病院 (自衛隊三沢病院)	
		実人員	延べ研修日数	実人員	延べ研修日数
元		6人	30日	4人	20日
2		0人	0日	0人	0日
3		4人	20日	1人	5日
4		0人	0日	0人	0日
5		6人	18日	0人	0日

(2) 地域公衆衛生看護実習

地域看護活動の実際を理解すると共に、活動の展開に必要な基礎知識、技術並びに態度を習得させることを目的に実施している。令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、受入れは中止となったが、令和5年度から看護実習を再開した。

<実施状況>

学校名	実習期間	人数
弘前学院大学 看護学部	令和5年6月6日(火)～6月9日(金)	3名
青森県立保健大学 健康科学部 看護学科	令和5年7月11日(火)～7月14日(金)	5名
弘前医療福祉大学 保健学部 看護学科	令和5年10月3日(火)～10月6日(金)	3名